



山口蓬春の 日本画と写生

— 造形の基礎を探る —

平成26年10月24日(金)—12月23日(火・祝)
前期：10月24日(金)—11月24日(月) 後期：11月26日(水)—12月23日(火・祝)

※展示作品は都合により一部変更することがあります。

山口蓬春記念館

HOSHUN YAMAGUCHI MEMORIAL HALL

開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：毎週月曜日(11月3日・24日は除く)、11月4日(火)・25日(火)

入館料：一般／600円(高校生以下は無料) 団体割引／100円割引(20名以上の団体に1週間前までに予約した場合)

[税込み] 障害者割引／100円割引(同伴者1名を含む) 連携館割引／100円割引 ※連携館：葉山しおさい公園・博物館(大人券のみ)、神奈川県立近代美術館 葉山(一般券・学生券のみ)
年間入館券／1,800円(発行月から翌年の同月末日まで有効)

主催：山口蓬春記念館・公益財団法人JR東海生涯学習財団

後援：神奈川県教育委員会、葉山町教育委員会

山口蓬春記念館 〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2320

TEL:046-875-6094 FAX:046-875-6192

URL:<http://www.hoshun.jp/>

1.山口蓬春《新冬》昭和37年(1962) 山口蓬春記念館蔵

2.山口蓬春《楓》写生(部分) 昭和41年(1966) 山口蓬春記念館蔵

山口蓬春の日本画と写生

造形の基礎を探索

日本画の制作では、現場で直接対象物を見ながら本制作を行うことは少なく、写生などをもとに下図を作成してから本制作を行うという行程がみられます。この写生について日本画家・山口蓬春（一八九三—一九七二）は、「素材が定まると、それを造形的に基礎づけるために、写生が必要になってくるのであるが、日本画に於ける写生の建前と言うものは、つまり、一つのタブロウ（画面）を作るためのトレイニングのようなものである。」と著書『新日本画の技法』（美術出版社、昭和26年）の中で述べています。

蓬春は東京美術学校西洋画科に入学するも日本画科に転科し、以後、戦前から戦後へと時代が大きく移り変わるなかで新しい日本画の創造をめざし、日本画壇をリードしてきました。現在、山口蓬春記念館には、蓬春が遺した研鑽の偲ばれる写生も多く含まれ、彼が写生という「トレイニング」を日々行っていたことが窺われます。この造形の基礎とも言える写生について蓬春は、「観たまま、感じたまま、知ったままを一つの写生の中に包括する」と述べています。つまり、「客観的な視覚作用を通しての描写」と「対象物に対する自己感動の併写」、さらに「美と言うものの要素」を写生の経験を通じて知っていることが重要であると説いています。

本展覧会では、蓬春の画業初期から晩年に至る日本画や写生などを取り上げ、彼が目指した新日本画の軌跡を写生という視点からご覧いただけます。



山口蓬春《嘉靖方壺》写生 昭和32年(1957)
山口蓬春記念館蔵



山口蓬春《楓》写生 昭和41年(1966)
山口蓬春記念館蔵



山口蓬春《波》写生 昭和38年(1963)
神奈川県立近代美術館蔵【前期のみ】 撮影：木奥恵三



山口蓬春《佐与利》昭和26年(1951)
山口蓬春記念館蔵



山口蓬春《三彩俑》写生
昭和31年(1956)
神奈川県立近代美術館蔵【後期のみ】
撮影：木奥恵三



山口蓬春《飛天・大同雲崗第二十洞》写生
昭和31年(1956)
神奈川県立近代美術館蔵【後期のみ】
撮影：木奥恵三



山口蓬春《鉄仙》写生
昭和45年(1970)
神奈川県立近代美術館蔵【前期のみ】
撮影：木奥恵三



山口蓬春《夏の花》
昭和45年(1970)
山口蓬春記念館蔵

※会期中、一部展示替えを行います。展示作品は都合により一部変更することがあります。

イベント

初冬の呈茶会【予約制】

【日時】11月22日(土)、23日(日・祝)

12:00~15:30

※一席約20分(学芸員の解説付き)、
最終席は各日とも15:00から

【場所】山口蓬春記念館内「桔梗の間」

【参加費】1席1,000円(入館料を含む)

【定員】各日とも40名

【協力】葉山町茶道連盟

【申込方法】3日前までに電話で氏名、
希望日、人数、電話番号をご予約下さい。

交通案内

JR横須賀線・湘南新宿ライン「逗子駅」より京浜急行バス3番乗場又は京浜急行線「新逗子駅」南口2番乗場より「海岸回り葉山行(逗12)」か「海岸回り葉山福祉文化会館行(逗11)」にて約18分「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」下車徒歩2分

※専用駐車場はございません。車でお越し頂く場合は、周辺の駐車場をご利用下さいませようお願いいたします。

